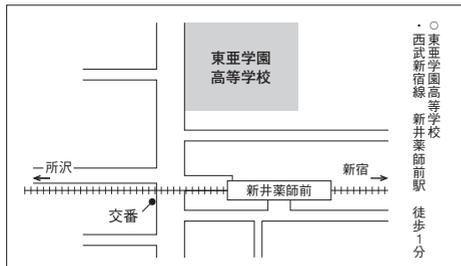


# とう あ がく えん 東亜学園高等学校

〒164-0002 東京都中野区上高田5-44-3 ☎03-3387-6331 学校長 矢野 隆



〈URL〉 <https://toagakuen.ac.jp>

**沿革** 大正13年(1924)男子5年制実業学校として東亜商業学校創立、同年文部省認可。戦後、野方学園高等学校と改名し、昭和26年(1951)学校法人に改組。昭和28年(1953)東亜商業高等学校へ校名変更。昭和41年(1966)普通課程新設(男女別学)。昭和50年(1975)東亜学園高等学校へ校名変更。昭和57年(1982)普通課程に男女共学制採用。平成16年(2004)商業課程募集停止、普通課程に特進コース設置。令和6年(2024)創立100周年。

## 校風・教育方針

「他人親切丁寧 自己奮励努力」を校訓として、社会適応能力の育成と実力養成を教育の2本柱としています。広い視野と価値観を涵養することにより、自ら考え行動できる人間の育成を基本に、自由闊達で素直な生徒が多いです。1年次の創(So)×トレは、3泊4日の宿泊を含む5日間の集団生活を通して、大人としての基礎を楽しく学びます。

## カリキュラムの特色

**総合選抜コース** 基本的に私立大学受験に対応したコースで、2年次からは、文系選抜、理系選抜、特別選抜の各コースに分かれますが、1年終了時、国立大学に対応したカリキュラムの特進コースに移動することが可能です。クラブ活動と勉学の両立を図りたい、または大学へ進学する希望があるが、1年間は将来についてよく考える時間を持ちたい(持たせたい)という生徒が、本コースを選択しています。

今年の進学実績については巻末の「高校別大学合格者数一覧」をご覧ください

**特進コース** 国立大学、難関私立大学合格を目標としたコースで、1年次より5教科7科目受験に対応するべく、時間管理と先取り学習で、3年次夏休みにはほぼ正規の学習内容を終了し問題演習に移行します。2年次から文系と理系にコース分けがあります。難関国立大学対応として、1年次から入試でも軸となる英語の学習を固めていきます。

## グローバル教育

グローバル教育には、コミュニケーションのための言語と、外国の方々と話をする上で必要となる日本人としてのアイデンティティーおよび、多様性を受け入れる素養が必要です。さらに、いろいろな人の中に分け入っていく際に必要な教養と専門性が求められます。東亜学園では、1年次と2年次に全員が週1コマのマンツーマンのオンライン英会話を受講し、ネイティブの発音や外国の方と話すことに慣れ、卒業時に英検2級以上を取得できるようにしています(年3回、英検を校内で実施)。外国の方は日本の精神性について興味を持っており、日本人としてのアイデンティティー涵養のため、2年次の修学旅行では、飛鳥サイクリング、熊野古道、高野山を訪れることで、その基礎となる文化を学習します。多様性については、週1時間設定している文化教育において、人にはさまざまな考えがあることを学び、その中で自己の価値観を涵養するよう指導しています。ニュージーランドのウェリントンカレッジ、およびニュージーランドとの間に交換留学制度があり、在学中にニュージーランドへの短期留学が可能です。

無学期制 登校時刻 8:30 昼食 弁当持参、食堂、売店 土曜日 授業

## 環境・施設設備

中野本校は、最寄り駅の西武新宿線新井薬師前駅から徒歩1分で校舎内に入れます。校舎には、中庭、地下体育館のほか、小体育館であるフェンシング・柔道場がありますが、屋外で体育を行うため、1・2年次には、週に1回、花小金井にある小平総合グラウンドで体育、一般授業演習、家庭科授業を行います。

全ての教室には、電子黒板対応のプロジェクターが設置されており、iPad及び強力なWi-Fi環境により、双方向の立体的な授業、1クラス単位のオンライン英会話授業を行っています。コロナによる欠席者も在宅で授業に参加可能で、さらには、板書の時間節約により、授業進度を早めることが可能となっています。

また、「D-projects」は授業の定着を学校内で完結させる自立型学習支援システムです。全ての生徒が自由に使用することができます。137席の独立自習スペース、個別指導ブースがあり、習熟度に

合った問題集、自習プリントが用意されており、分からないところは常駐している現役大学生チューターに質問することが可能です。20時まで利用でき、遅くまで利用しても駅前なので安心です。

## 学校行事・クラブ活動

1年次の創(So)×トレ、2年次の修学旅行、全学年共通の体育祭、東亜祭(文化祭)、弁論大会などがありますが、いずれも、生徒自ら考え主体的に行動することに重点を置いています。

クラブ活動は、8割以上の生徒が参加しています。体育部門では、甲子園3回出場の野球部、全国優勝8回の男子バレーボール部、インターハイ全国優勝に加え、社会人、大学生を加えたオールジャパンで全国優勝実績のあるフェンシング部、インターハイ全国優勝の重量挙げなどが活躍しています。女子生徒には、チアリーダー部、ダンス部が人気です。文化・芸芸部門では、合唱部、吹奏楽部が活躍しており、軽音楽部もコンクール出場など活発に活動しています。

## データファイル

### 2025年度入試日程

入試区分	出願期間	試験日	発表日	手続締切日
推薦(単願)	1/15~1/17	1/22	1/23	1/25
一般(併願)	1/25~2/1	2/10、2/11	試験翌日	2/15*

※公立併願の延納は一次・分割前期発表翌日

募集人員：推薦総合選抜179 特進10

一般総合選抜181 特進35

### 2025年度選考方法・入試科目

推薦：書類審査、面接、作文(6項目各120字50分)

\*2025年度テーマ「6項目のテーマについてそれぞれ意見を書く」【出願条件】総選5科16 特進5科19 いずれも3科は3、9科は2以上 欠席各学年10日以内 生徒会役員など(総選のみ)、英検・漢検・数検による加点あり

一般：国語、数学、英語(マークシート方式)、面接 ※英語はリスニングを含む  
**【出願条件】** 併願優遇：総選5科17 特進5科20 いずれも3科は3、9科は2以上 欠席各学年10日以内 生徒会役員など(総選のみ)、英検・漢検・数検による加点あり  
 (成績奨学特待生制度) 推薦：5科20 希望者は特待チャレンジ試験(2/11) 受験可 一般入試・併願優遇：5科20または入試得点195点以上 ※付帯事項：推薦・一般とも①入試相談者②検定内

説明会・行事等は日程・内容が変更される場合があります。必ず学校HP等でご確認ください

### 申加点なし

〈配点・時間〉国・数・英=各100点40分

〈面接〉推薦は個人面接 一般はグループ面接 かわめて重視

### 指定校推薦枠のある主な大学

東京理科大 中央大 成蹊大 武蔵大 明治学院大 獨協大 日本大 東洋大 駒澤大 専修大など

### 2024年卒卒業生進路状況

卒業生数	大学	短大	専門学校	海外大	就職	進学準備他
280人	227人	4人	30人	0人	3人	16人

### 2024年度入試結果

募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	競争率
推薦 総選179/特進10	122/0	122/-	122/-	1.0/-
一般 総選181/特進35	616/54	598/52	498/47	1.2/1.1

### 学校説明会

ホームページにて要予約 9/28 10/5 10/26 11/16 11/23 11/30

※個別相談会あり 個別相談会 12/1 12/7

授業見学会\*(保護者対象) 火・水・木曜日

校舎見学会\* 木・金曜日

オンライン英会話体験会\* 土曜日

\*11月まで実施

### 見学できる行事

文化祭(東亜祭) 9/21・9/22(入試相談コーナーあり)